

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回茨木市社会教育委員の会議
開催日時	令和元年7月31日(水) 午後6時～午後7時30分
開催場所	上中条青少年センター 会議室
議 長	三川俊樹
出席者	稲田 勲 今西幸蔵 大浦晴子 大島亜希子 高尾末男 高穂雅貴 三川俊樹 (計7人)
欠席者	田村英明 樋口禎久
事務局職員	岡田祐一 教育長 乾克文 教育総務部長 小田佐衣子 市民文化部理事 松本栄子 教育総務部次長兼社会教育振興課長 木下典子 教育総務部歴史文化財課長 吉田典子 教育総務部中央図書館長 辻田新一 市民文化部文化振興課長 小西勝二 市民文化部スポーツ推進課長 山内得世 教育総務部社会教育振興課参事兼指導育成係長 中西真由美 社会教育振興課主幹兼係長 他職員1人(計11人)
議題(案件)	(1) 平成30年度事務・事業実績報告について (2) 令和元年度事務・事業執行計画について
配布資料	会議資料

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
社会教育振興 課長	<p>【開会】</p>
教育長	<p>【あいさつ】</p>
社会教育振興 課長	<p>【社会教育委員の紹介・事務局職員の紹介】</p> <p>令和元年7月1日から令和2年6月30日を任期として委嘱された委員を紹介。</p> <p>平成31年4月1日人事異動に伴う事務局職員の紹介。</p>
議長	<p>【会議の成立】</p> <p>9人中7人の委員にご出席いただいております、茨木市社会教育委員条例第6条第3項の規定により本会議は成立。</p> <p>茨木市社会教育委員条例第5条第2項に基づき、議事進行については三川議長にお願いします。</p> <p>それでは、ただ今から、令和元年度第1回茨木市社会教育委員の会議を開催する。</p> <p>【会議の公開】</p> <p>本会議は、平成30年度第1回の社会教育委員の会議において、「公開」と決定している。傍聴者の資料の閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルーム設置の会議録の内容については、議長に一任とさせていただきます。 (傍聴者はなし。)</p> <p>議案に入る前に、「令和元年度の社会教育の努力目標」を、資料として配布している。平成30年度第2回会議においてご審議いただいたもので、この努力目標に基づき、今年度の事務事業執行を進めるものとなる。</p> <p>本日の議案である、「令和元年度の事務・事業実績報告」と「令和元年度の事務・事業執行計画」について、教育総務部長から令和元年度の社会教育の努力目標について説明いただいた後、各担当課長か</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ら、それぞれ報告及び説明をお願いします。
教育総務部長	【資料に基づき説明】
各担当課長	【社会教育振興課、歴史文化財課、中央図書館、文化振興課、スポーツ推進課の順で、資料に基づき説明】
議長	各委員、意見、質問等はあるか。
高尾委員	スポーツについて、昨年度は施設の使用実績等の資料があったと思うが、今年度はないのか。 西河原市民プール等、今年は開かれてよかった。各施設、修復できていない部分はまだあるのか。
スポーツ推進課長	資料、抜けていて申し訳ない。
市民文化部長	昨年度も添付されていない。あるほうがよいと思うので作成し、後日送付する。来年度以降も入れるようにする。
議長	昨年度の自然災害による各施設への影響、その復旧状況など伺いたい。
スポーツ推進課長	福井市民体育館の体育室が損傷し、12月から開館となったが、体育室は3月いっぱいまで利用不可となった。桑原運動広場にひびわれができた。中条、西河原市民プールは夏期営業ができなかった。今年度は使用可となっている。
教育総務部長	小・中学校のプールのブロック塀を撤去した。今夏までの復旧を予定していたが、入札不調等により予定どおりに進まず、夏が終わってから修繕にかかる。今年度末までには完了する予定である。
歴史文化財課長	文化財資料館は一部損傷、キリシタン史料館は影響なし。郡山宿本陣には多大な影響があり、地震後公開中止、今年度修理を行い、令和2年度の公開に向けて進めている。
中央図書館長	傾いた書架もあったが、建物への影響はなかった。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
文化振興課長	<p>クリエイトセンター、福祉文化会館、生涯学習センターきらめきでは、亀裂やひびが入ったり、室外機に損傷を受けた。ホールの舞台設備がひずんだり、照明が落ちたりした。プラネタリウムの基礎部分のアンカーボルトがはずれた。現在はすべて復旧している。</p>
社会教育振興課長	<p>上中条青少年センターには大きな被害はなかった。公民館でクラックや塀の傾きなどが生じたが、順次修繕した。野外活動センターで大きな被害があり、台風 21 号により倒木が約 300 本あった。ハイキングコースやテント、ロッジに木が倒れて、道をふさがれたり、テントに穴があくなど被害を受けた。9 月末まで閉鎖し 10 月から日帰り利用のみの受け入れとなった。そのため、利用者数が減少している。12 月 1 日から 3 月 20 日までのキャンプ場閉鎖中に復旧を行い、3 月 21 日以降の利用はこれまでどおり受け入れている。</p>
議長	<p>各事業、社会教育施設に、大きな影響をうけた。今年度はないように願う。</p>
高尾委員	<p>図書館について、資料の盗難はあるのか。また、蔵書の新旧の比率はどうなっているか。</p>
中央図書館長	<p>入口に盗難防止装置が設置されているため、現在はほぼない。蔵書の新旧比率についての統計はないが、購入、廃棄の数はほぼ同じで、昨年は 5 万 7 千冊ほどを購入している。</p>
稲田委員	<p>小豆島町とのこども交流事業について、平成 30 年度が「-」になっているが、実施されなかったのか。今年度の事業計画にもあるが、この事業は、だれを対象としているのか。同じく姉妹都市である竹田市との交流事業の計画はないか。</p>
社会教育振興課長	<p>小豆島町とのこども交流事業は、昨年度は地震や台風、高温注意報の発令など自然災害のため派遣、受入事業ともに中止となった。今年度、派遣事業であるオリーブキャンプは、すでに 7 月 26 日から 28 日に実施済。市内小学 6 年生を対象に男女 20 人ずつ募集している。毎年人気の事業で抽選となっている。受入事業であるフレンドリーキャンプの対象は、小豆島町の 4 つの小学校の 6 年生全員で、茨木市の子ども達との交流キャンプの実施や、西河原市民プールにも行く工程で、8 月 6 日から 8 日の実施にむけて準備している。竹田市との交流</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
今西委員	<p>キャンプについては、今のところ予定はない。</p> <p>自然災害が続いた中で、各事業よくやってくれたと思う。 青少年教育について、子どもの貧困についての事業はどうか。 図書館について、蔵書数よりどれだけ廃棄、購入するかが問われる。 もう少し入れ替わりがあっていいと思う。また、学校との連携はどうなっているか。 文化財資料館について、夏休み体験学習講座、良いと思う。子ども達を呼び込む企画はどのようなものがあるか。</p>
社会教育振興課長	<p>子どもの貧困については、こども政策課が所管し、関係部署が連携して取り組みを進めている。当課としては、上中条青少年センターにおいて、民間団体によるこども食堂の実施や、ラウンジ等を活用して、受託業者により社会経験等ができる居場所の提供として、ユースプラザ事業が実施されており、それらの取組の中で連携を図っているところである。</p>
中央図書館長	<p>子ども読書活動推進計画で「学校との連携強化」をあげている。学校担当制で司書が各学校を訪問している。団体貸し出しを行い、様々な資料について相談を受けている。小学3年生時に図書館見学があり、日ごろ見られない書庫など見学をしてもらっている。中学生の職場体験を受け入れている。</p>
歴史文化財課長	<p>出前講座を、昨年度10校実施した。民具などを持っていき、実際に触れてもらうなどしている。また、団体見学が小学校6年生で2校、3年生で15校あった。その他、子ども向けの展示等を行っている。</p>
今西委員	<p>子どもの貧困について、「社会教育としてどうするか」が課題となっている。引き続き取り組んでもらいたい。 音訳ボランティア養成、非常にいいこと。障害者への社会教育は一つのテーマとなっている。</p>
中央図書館館長	<p>図書館で毎年ではないが音訳・点訳の入門講座をおこなっている。障害者の方にも本を楽しんでもらうという意味においても、今後も続けていこうと思っている。</p>
高穂委員	<p>学校と社会教育の連携は、学校としてはとてもありがたい。文化財</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
議長	<p>資料館には遠方でなかなか行けないが、出前講座を実施してもらい、歴史を教科書で読むだけでなく本物に触れて学習することができ、非常に役立っている。期間等も学校の実情にあわせて、要望があれば応えていただくなど、広げてもらえるとありがたい。図書館見学では、半日くらい丁寧に説明をしてもらい、利用カードを作ってもらったりしている。のちに家族で訪問するなど、普段の生活の中に組み込んでいけるものとなっている。小学校区内の公民館では、地域の青少年健全育成に関わる方に、宿題をやった後、みんなで昼食を食べたりする催しをしていただいている。学校での顔とちがう子どもたちの顔が見られ、子ども達だけの空間ができています。もっとたくさんの地域で実施してもらいたい。</p> <p>また、茨木市のこと、地域のこと、知らない人は多い。文化財資料館やクリンタン遺物史料館などを回るバスツアー等、年間を通して実施してもらえたら。</p> <p>公民館は社会教育の場であるとともに、子ども達の学びの場でもあるという指摘だった。</p>
今西委員	<p>公民館は、コミュニティの核である。学校以外の場所に子ども達がでかけ、学習することは有意義なこと。</p> <p>キャリア教育、すなわちキャリアを獲得するための体験学習が重要とされている。また、非認知能力の養成をする場が保証されているのかが問われている。社会教育施設を子ども達が利用することで、中教審で言われている「第4の教育領域」が見えてきたらいいかなと考えている。</p>
大浦委員	<p>親まなびおでかけ講座、限られた人数で実施している。全小学校での実施は難しいとのことだが、日ごろの子育て、しんどさの共感、対応のしかた等話し合っている。今年は教材に新エピソードが入り、新しい目線で取り組んでいる。大学生に対しての親まなびは、今は追手門学院大学でのみ実施しているが、これからどういう親になっていくのか考える機会として重要と思っている。報告書に西陵中校区での実施が入っていない。親まなびきらりん広場で、古くから実施している。公開資料ということで、「なぜうちの校区が入っていないのか」と疑問を持たれる。入れてもらえないか。</p> <p>文化財資料館を先日訪れた。大変興味深かった。入館者数の統計は取っているのか。子どもの入館はどれほどあるか。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
社会教育振興課	西陵中校区での親まなびは、市の直接の実施ではないため記載していない。どのような形で記載ができるかを含め検討する。
歴史文化財課長	文化財資料館の入館者について、大人、子どもを分けた統計は取っていないが、子ども向け企画を充実させてきているので、子どもの入館者は増えていると思う。学校での出前講座のあと、家族できてくれるようなこともある。
議長	親まなび、こちらの要望を入れてもらいながら、取り組んでもらっている。まさにキャリア教育と思っており、毎年実施している。
大浦委員	文化財資料館の展示資料に「他館貸し出し中」とあったが、持ち出しができるのか。
教育長	重要文化財等の重要なものについては、管理の出来るところなど貸し出しに限りがあるが、それ以外のものは、各地の博物館に貸し出している。出前講座でも、民具等、持って行く場合もある。実物を見られることは大切である。
大島委員	15年前、子どもが1歳の時に茨木市に引っ越してきた。何もわからない中で、子育て支援ふくろう広場があるのを知り、行ってみた。とても楽しく、子どももかわいがってもらい、成長してもそのつながりで新しい環境に入っていくことができた。放課後子ども教室の活動に参加し、いろんな体験をさせてもらった。今は、子民家よってこ食堂に参加し、親子ともに楽しんでいる。 文化財資料館など、知らなかった。バスツアーやサイクリングツアー等企画してもらえたら、と思う。
高尾委員	玉櫛公民館でD51見学会を年6回やっている。SLを活かしていきたい。保存状態がよいと褒められた。引き続き、いい状況が保持できるようにお願いしたい。
議長	その他、意見等あるか。 それでは質疑応答はここまでとする。 事務局から連絡事項はあるか。
事務局	(社会教育研究大会 (兵庫県大会)、「社教情報」の購入について)

